



このまま進めて本当にいいの？

# 3館合築複合化

## 中央図書館と田無公民館が、市民会館の場所に移転する？

「中央図書館と田無公民館が、駅の向こう側に移転するって本当ですか？」

市民の方からの問い合わせや不安の声が、私たちのもとに数多く寄せられるようになりました。

市が今年3月に発表した「庁舎統合方針(案)」では、老朽化した保谷庁舎の機能を、田無庁舎の周辺施設へ移転し、まだ耐用年数の残る田無庁舎とあわせて活用する“暫定的な統合案”が打ち出されました。案が今年度中にまとめれば、来年以降、移転に向けた計画が本格的にスタートする予定です。

ただしこの暫定案は、田無庁舎の周辺施設である「中央図書館と田無公民館」が、田無駅北側にある「市民会館」の土地に移転して、複合施設として合築されることが前提となっています。

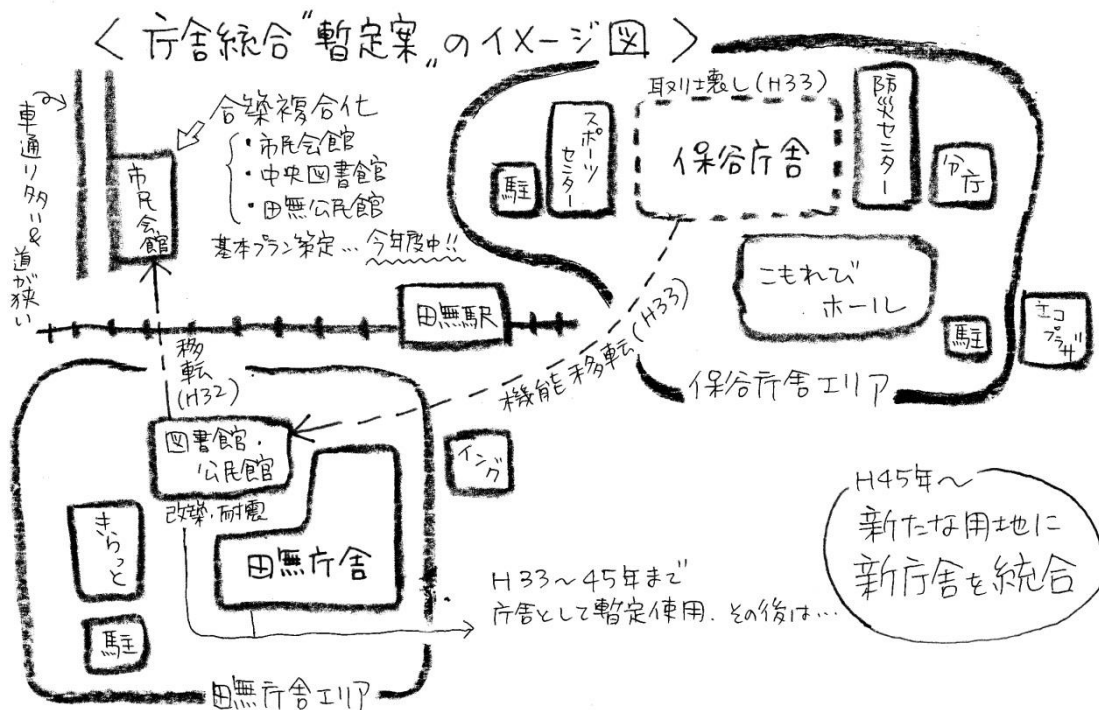
## 住民サービスが大幅に低下！ 南町・向台町・新町から文化施設がなくなる？

中央図書館・田無公民館は、とりわけ田無駅南側の住民にとって身近な文化施設です。もし市民会館の土地に移転すれば、これまで利用していた子どもや高齢者などの交通弱者が利用できなくなるおそれがあります。

今年10月、新町図書館分室が廃止になりました。もし中央図書館も移転すればサービスの後退は必至です。

## 大事なことを、市民に黙って決めないで！！もっと声を聞いて！！

合築複合化案については、まだ市民説明会すら開かれていません。この計画を進めてしまって本当にいいのか、行政はきちんと市民に問い、合意を得るべきです。市議会もこの9月に、「市民会館、中央図書館・田無公民館合築複合化については時間をかけ慎重に検討することを求める決議」を賛成多数で可決しています。



出前報告会やります！  
いつでもお声を！

## 市民会館・中央図書館・ 田無公民館の合築複合化は、 課題が山積み！

◎市民への説明も合意形成もまだ  
なのに、来年の3月には方針決定？

今年4～5月に行われた庁舎統合方針(案)の市民説明会では、市民から合築案への驚きや疑問の声が寄せられました。行政は「合築は市の方針だが、まだ決まったわけではない」と回答したものの、市民の声を聞く機会も合意形成の場もいまだ用意されていません。

◎施設面積は足りるのか？！  
3館合築で本当に大丈夫？

市が積算した合築複合化施設の最大延床面積は 5400 平米。一方、現在の3館の延床面積を足すと 7593 平米です。市は「2200 平米は削減可能。施設に新たな付加価値もつける」としていますが、必要面積の確保と位置について、合築複合化基本プラン策定懇談会(※)の委員からも不安や疑問の声があがっています。

※ 今年7月に設置された学識と市民委員等からなる懇談会。今年度中に合築施設の基本プランを協議検討し市長に提言を行う。

## 庁舎統合暫定案で、西東京市のまちづくりはようになる？

◎暫定期間後に残るのは“きらっと”だけ？ 田無駅の南側は  
文化施設空白地域に…

暫定統合期間が終了する平成 45 年、田無庁舎エリアはどうなっているのでしょうか？図書館・公民館はすでに移転し、古くなった田無庁舎は解体、後に残るのはきらっとだけ…？行政の説明からは、駅前の一等地をまちづくりにどう活かしていくのかが見えてきません。

◎保谷庁舎を解体した後はどうなるの？ 保谷庁舎エリアの  
一体性が損なわれる？

こもれびホールと保谷スポーツセンターに挟まれた保谷庁舎は、たとえ解体しても跡地は平成 45 年度まで売却しないことが、生活者ネットの質疑で明らかになりました。公共施設が集積するエリアの真ん中にある保谷庁舎跡地は、活用するにも売却するにも難しい土地。庁舎を壊した後に周辺エリアをどうしていくのかは未定のままです。

◎新たな用地を購入して新庁舎を建設？！

市の暫定案は、平成 45 年までに「市中心エリア(北原1丁目付近)」に土地を確保し、新統合庁舎の建設を検討するとしています。市民向けの資料では、財政メリットが最も高い案と説明されていますが、議会の質疑を通じて、コスト比較に問題があることが明らかにされています。

市は現在策定中の「公共施設等総合管理計画」で、「平成 45 年度までに公共施設の延床面積を 10%削減する」としています。しかし、暫定案では平成 45 年までに庁舎関連の売却予定地はナシ。そのうえ新たな用地を購入すれば、庁舎以外の公共施設の施設面積をもっと削減しなければならなくなります。

## 合築複合化と暫定案以外に、方策は無いのでしょうか？

平成 26 年3月に公表された「庁舎統合方針(素案)」には、庁舎機能を保谷エリアに、市民会館を含めた文化施設を田無エリアに集約する「保谷庁舎統合案」が、1つの案として提示されていました。

この案のメリットは、①田無・保谷両庁舎エリアの一体的な活用が可能、②田無は駅の近くに文化施設を集約することで利便性と付加価値が向上、③保谷は周辺道路が広いので防災機能上有効、④市民会館の土地を売却し財源に充てるなど、さまざまに考えられます。

「保谷庁舎に統合することに対し、市民の合意が得られていない」と行政は言いますが、庁舎の統合を先送りにして合築複合化を進める現在の暫定案よりは、はるかにマシではないでしょうか？

これからの時代、人口は減少し、高齢化が進み、公共施設はどんどん老朽化していきます。財源に限りがある中、市民参加でまちづくりに優先順位をつけていくことが必要不可欠です。

**庁舎統合と3館合築複合化に、皆様のご意見をお寄せください！**

—— 詳しい資料が必要な方は、お気軽にお問合せください ——